

# 図書館だより

ノートルダム学院小学校

2018.07.02 (月)

No.4

さあ、夏休み、外で元気に遊ぼう!!  
家でじっくり本も読もう!!



どの学年も学年テストが終わり、一安心していることでしょう。

さて、次に来る楽しみはといえば『夏休み!』心がウキウキして、待ち遠しいですね。しかし、夏休みには宿題がたくさん出ます。塾の夏期講習に行く人も大勢いるでしょう。

夏休みの宿題に必ず登場する『読書&感想文』毎年最後の最後までできなくて残してしまっていて、困っている人がいるのではないのでしょうか? それを今からやっておくのです。そうすると休みが『ナガークタノシメル』というわけです。

やり方はみんなにプリントを配りますが、ここでこっそり教えてあげましょう。

- まず、課題図書をしっかり読みましょう。図書館入り口近くにならべてあるので、そこから選ぶと良いですね。自分の好きなこと、興味のあることについて書かれている本を選ぶこと。



- 読んでいる時に思ったことや心に残ったことを、素直に、自分の言葉でメ

もしておく。

・書きとめておいたことをもとにしながら、自分が一番書きたいことは何かを考<sup>かんが</sup>える。

\* 主題・登場人物の生き方や考<sup>かんが</sup>え方・人柄などに対して自分の思<sup>おも</sup>ったことを書<sup>か</sup>く。

\* 自分や自分の周りの生活と比べて書<sup>か</sup>く。

\* 一番感動・感銘を受けた一つの文や言葉を取り上げて書<sup>か</sup>く。

\* 同じ作者の、他の作品と比べながら書<sup>か</sup>く。

\* 主題や内容のよく似たもの、また逆のものなどと比べながら書<sup>か</sup>く。

\* 同じ本を読んだ友だちやおうちの人たちと話し合<sup>あ</sup>って、感想を比べながら書<sup>か</sup>く。

\* 科学的な作品は、同じ実験や観<sup>かん</sup>察を自分でやってみて書<sup>か</sup>くのもよい。

② 文章を整理する段階で、文章の書<sup>か</sup>き出しや最後<sup>さいご</sup>のまとめを工夫<sup>くふう</sup>する。  
全体的に、主人公に語りかけるように書<sup>か</sup>いたり作者へのお手紙のように書<sup>か</sup>いたりするのもよい。

課題図書として一覧表に載<sup>の</sup>っていない本を選<sup>え</sup>んで書<sup>か</sup>いてもかまいません。

○ 用紙：原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の種類は問<sup>と</sup>いません。

○ 字数：低学年の部は、本文800字以内、中学年の部・高学年の部は、本文1200字以内です。

句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白箇所も字数として数<sup>かぞ</sup>えます。

題名・学校名・学年・氏名は字数に数<sup>かぞ</sup>えません。

読書感想文は『考<sup>かんが</sup>える読書』だといわれます。

読<sup>よ</sup>んで考<sup>かんが</sup>え、書<sup>か</sup>くことで更<sup>さら</sup>に考<sup>かんが</sup>えを深<sup>ふか</sup>められ

ます。みなさんの素晴らしい作品を期待<sup>すば</sup>して

います。

